

## 保存版

(毎年引き継ぎしてください)

押印のうえ、新しい町内会長及び、  
自主防災委員の方に引き継いでください。

|              |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 2026 年度<br>印 | 2027 年度<br>印 | 2028 年度<br>印 | 2029 年度<br>印 | 2030 年度<br>印 |
| 2031 年度<br>印 | 2032 年度<br>印 | 2033 年度<br>印 | 2034 年度<br>印 | 2035 年度<br>印 |

# 室町学区 防災まちづくりビジョン

～顔が見え、つながりで守る災害に強いまち・室町～

## 目 次

1. はじめに
2. まちの現状と被害想定
3. これまでの取組
4. 防災上の課題
5. 防災まちづくりの目標
6. 実現に向けて

令和8年3月

室町自治連合会

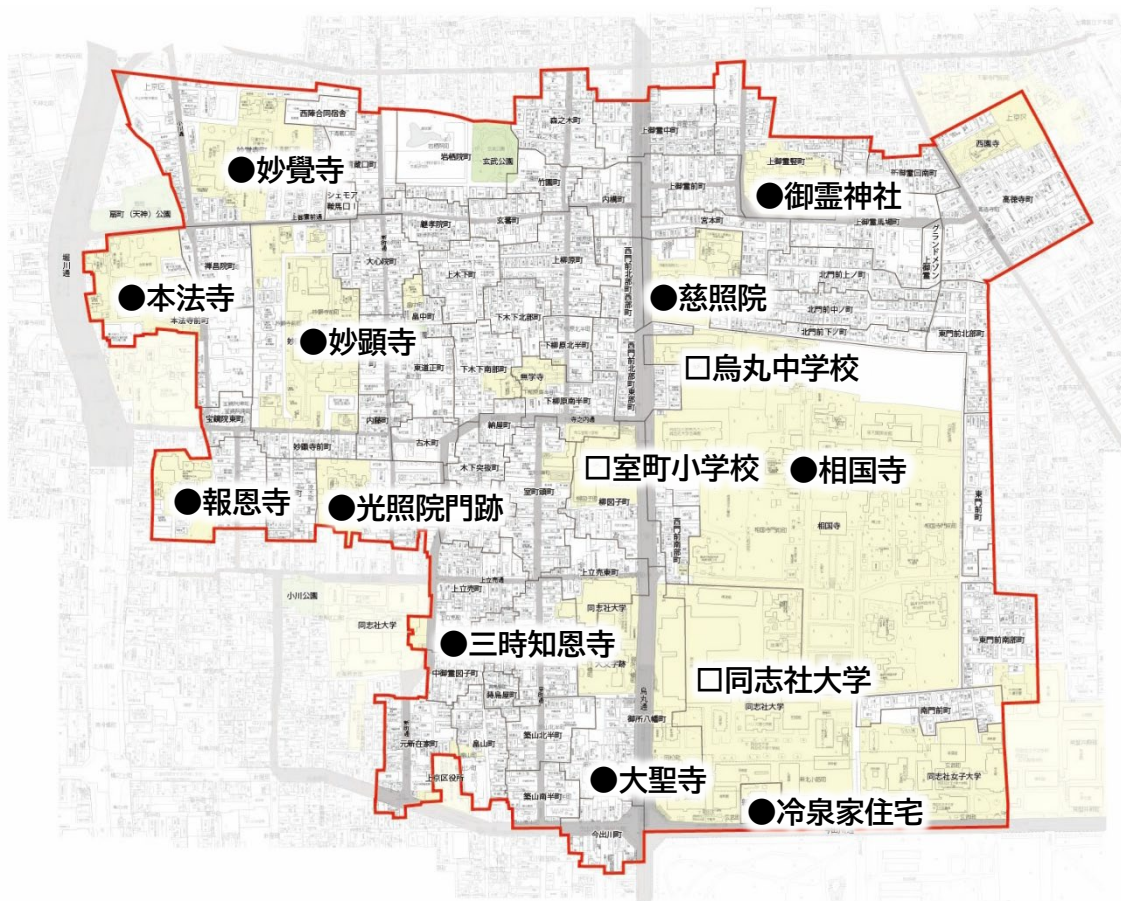
# 1. はじめに

室町学区は上京区の北東部に位置し、およそ北は上御霊前通の北側、南は今出川通、東は相国寺東通、西は堀川通にわたり、一部、北区出雲路を含む広範な学区です。室町時代には政治・文化の中心地であり、妙顕寺や相国寺、御霊神社などの寺社、冷泉家や千家など伝統文化を継承する旧家、同志社大学など、様々な歴史的資産や教育施設等が立地しています。また、小川通を中心として、織屋や商家、寺社、茶道家の門構えが地域固有の町並みを形成しており、上京小川歴史的景観保全修景地区に指定されるなど、京都らしい歴史的な風情が残っています。

一方で、学区内には、幅員4m未満の道路や古い木造住宅が散在しており、**密集市街地**として京都市に指定されています。

こうした背景を踏まえ、室町学区では、歴史的な町並みを残しつつも災害に強いまちを目指し、令和5年度から令和7年度の3年間、「防災まちあるき」や「総合防災訓練」、「ふれあい広場」での防災のPRなどの防災まちづくりに取り組んできました。

この『**室町学区 防災まちづくりビジョン**』は、将来にわたって安心・安全に住み続けられるよう、私たちが一緒になって取り組んでいくための計画です。



## 2. まちの現状と被害想定

### (1) 密集市街地の危険性

- ・ 狭い道や行き止まりの道が多く、  
避難や救助が困難

阪神淡路大震災では、建物やブロック塀の倒壊により、幅員4 m未満の道の96%が車両の通行ができず、73%が人も通ることができませんでした。緊急車両が通れず、避難や救助に困難をきたします。

- ・ 古い木造住宅が密集していると、  
火が燃え広がりやすい

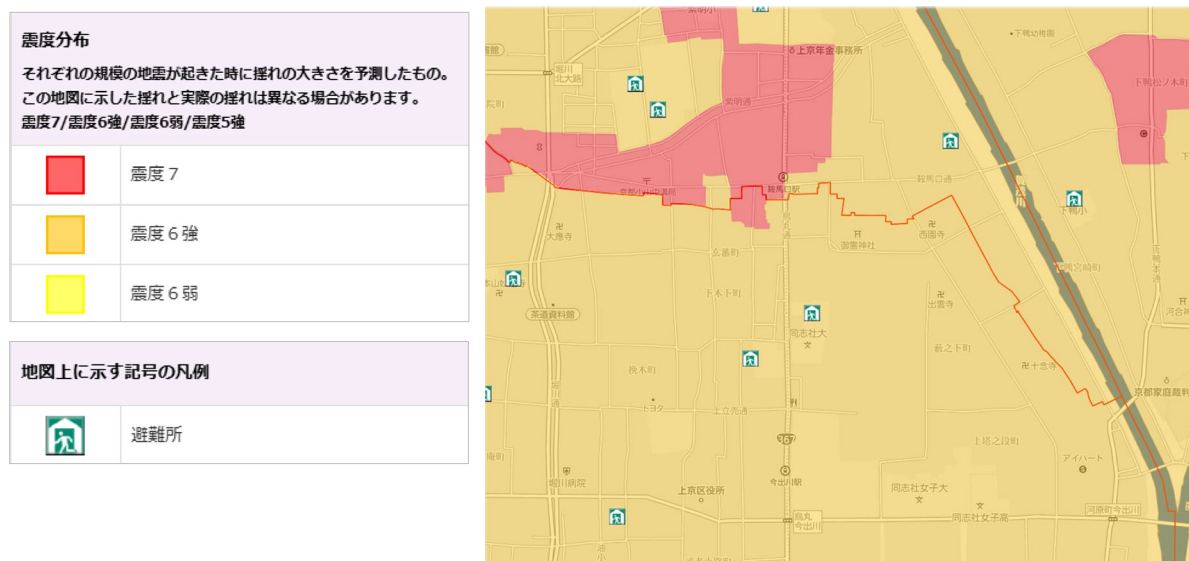
京町家は室町学区の魅力です。しかし、延焼を防ぐ広い道路や空地が少ないと、地震が発生した際、一つの建物の火災が大規模火災に繋がるおそれがあります。



【出典】阪神淡路大震災の様子（写真：神戸市）

### (2) 地震による被害

花折断層地震が発生した場合、室町学区では、震度6強から震度7の揺れが予測されており、耐震性の低い木造建物の倒壊をはじめ、火災の発生、人的被害、ライフラインの機能停止など、大きな被害が想定されています。



【出典】京都市地震ハザードマップ（発行：令和6年3月） ※花折断層地震が発生した場合

### 3. これまでの取組

#### (1) 防災まちづくりの取組

室町学区では令和5年度の防災まちあるきをはじめ、学区の総合防災訓練やふれあい広場での防災まちづくりのPRなど、様々な活動に取り組んできました。

##### 防災まちあるき・防災まちづくりマップ

- ・ 広い学区の特徴を踏まえ、3回にわけて防災まちあるきを実施
- ・ 路地の状況など地域の現状を見てまわり、防災上の課題や災害時に役立つ資源などを確認



防災まちあるきを機会に、近所の方と顔見知りになることができた！

普段入ることのない路地を確認できてよかった。思ったより、空き家が多かった。



地域の集合場所や消火器の位置など、全く認識できていなかった。



- ・ 防災まちあるきの意見を踏まえて、防災まちづくりマップを作成し、全戸配布

##### さくら広場プロジェクト

- ・ 「地域の集合場所」であるさくら広場のあり方について意見交換、ワークショップを実施
- ・ 「地域の集合場所」や住民の憩いの場として整備



春は桜がとてもきれい！  
桜の木は残したい。

多世代で活用できるような場所にしたい。



##### 防災まちづくりニュース

- ・ 防災まちづくりの取組についての報告、周知を目的にニュースを4回に分けて作成し、全戸配布



##### 自治連合会・役員会

- ・ 防災まちづくりに関する報告
- ・ 各団体や町内会で取り組めることについてワークショップを開催



小学校・PTA・女性会など、  
いろいろな組織を巻き込み、  
みんなで取組を進めたい！

## 室町総合防災訓練 防災まちづくり教室

- ・ 防災まちづくりの取組を説明、目指す将来像を確認
- ・ 「みんなで旗あげ」「ご町内自慢」など、町内会の防災力を高める活動を実施

### ／「ご町内自慢」で寄せられた声／



私の町内はこどもが小さくていつも賑やか、朝の挨拶をしている。

防災グッズを町内に配った。  
消火器を新しくした。



町内の人の顔と名前がわかる。  
お千度などにて集まって話し合った。



## ふれあい広場

- ・ こども向けの防災に関するクイズ「室町防災クエスト」を実施
- ・ 防災に関するキーワードを使いながら、こどもたちが「防災かるた」の読み札を考える



### ／こんなのつくりました！／

隣近所 困ったときは お互い様

経験を 積むために  
総合防災訓練に 家族で参加しよう



家族の連絡先 覚えておこう

## こども防災スクール

- ・ 災害時にできること等について、こどもたちと意見交換
- ・ 自分ができること、すでにやっていることを確認する「防災ビンゴ」を実施

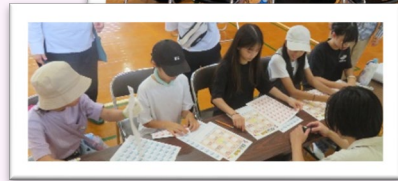


なるべく広い道の真ん中を歩いて避難する！

電線や電柱に触らないようにする！



2度目、3度目の揺れにも  
注意する！



「防災まちづくりの取組」に関する年表や  
防災マップ・防災まちづくりニュースなどはこちらのQRコードから！



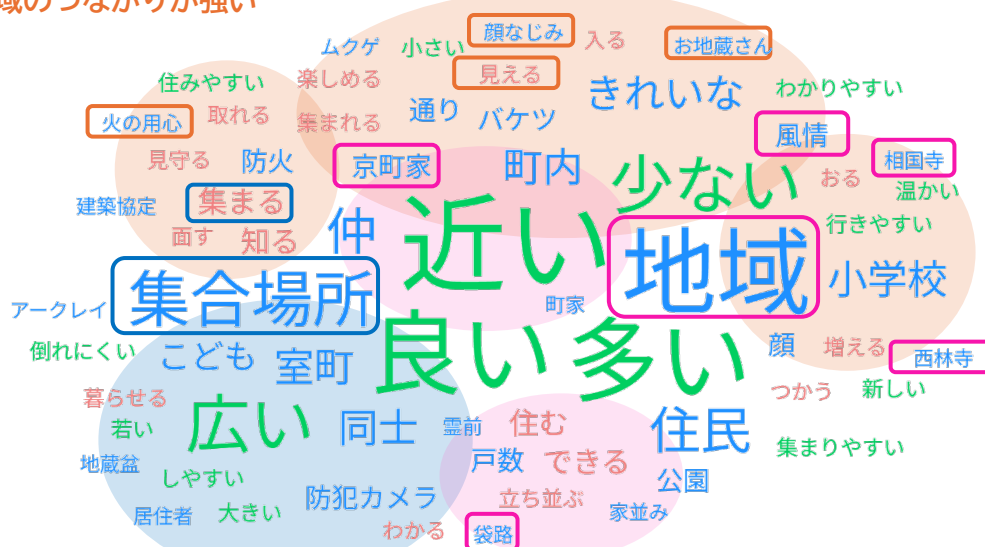
(2) 取組でいただいたご意見

これまでの取組でいただいたご意見をワークラウドで整理しました。

ワードクラウドは、意見の中に多く含まれている言葉ほど大きく表示される図で、意見全体の傾向を直感的に把握することができます。また、同じ意見の中で使われることが多い言葉は近くに配置されるため、内容的な関連性を読み取ることもできます。（※青字：名詞、ピンク色：動詞、緑色：形容詞）

### ① 住民が思う「地域の良いところ」(ワードクラウド)

地蔵盆や火の用心、高齢者の見守りなど  
→地域のつながりが強い



地域の集合場所が広い、集まりやすいなど  
→災害時の対策が取られている

寺社などの歴史的資産、京町家や路地など  
→町並みが魅力的

## ② 住民が思う「災害が起こった時に不安なところ」(ワードクラウド)

空き家や古い建物の倒壊、  
地域の集合場所への避難時の不安など  
→いえ、まちの課題



少子化、空き家の増加による町内会の担い手不足など  
→コミュニティの希薄化

道幅が細い、傷んだブロック  
塀があるなど  
→みちの課題

## 4. 防災上の課題

現状や、災害時の被害想定、これまでの取組でいただいた住民のみなさんの意見等を踏まえると、室町学区の防災上の課題として、以下のように整理ができます。

### 「まち・みち・いえ」に関すること

#### 【現状】

- ・広い敷地を有する相国寺や御霊神社、同志社大学などがある一方、学区内には路地や建物が密集している箇所が見られます。
- ・小川通など無電柱化されていて綺麗な通りもある一方、道が狭く暗く、車と歩行者のすれ違いに危険が伴う箇所もあります。
- ・背の高いブロック塀が所々にあります。
- ・災害時、ブロック塀や古い木の倒壊により、「地域の集合場所」への避難が困難となるおそれがある箇所があります。
- ・空き家が点在しており、中には倒壊のおそれがあるものも見られます。

#### 【課題】

- 建物やブロック塀等の倒壊により、災害時の避難に支障をきたすおそれがあります。
- 狭い道や行き止まりの道は、緊急時に緊急車両が進入できないおそれがあります。
- 老朽化した建物は災害時に倒壊するおそれがあります。
- 管理されていない空き家は周りの生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。

### 「災害への備え」に関すること

#### 【現状】

- ・高齢化が進んでおり、高齢の一人暮らしの方も多く見られるようになっていきます。
- ・昔から住んでいる人は顔なじみの人が多く、日頃から声を掛け合うコミュニティが残っています。
- ・マンションが増えたり、町内会への未加入者が増えるなど、町内会の交流が減っているところも見られます。
- ・ふれあい広場や餅つきなど、学区の行事が盛んに行われています。
- ・こども防災スクールなど、こどもの時から防災を学ぶ機会があります。

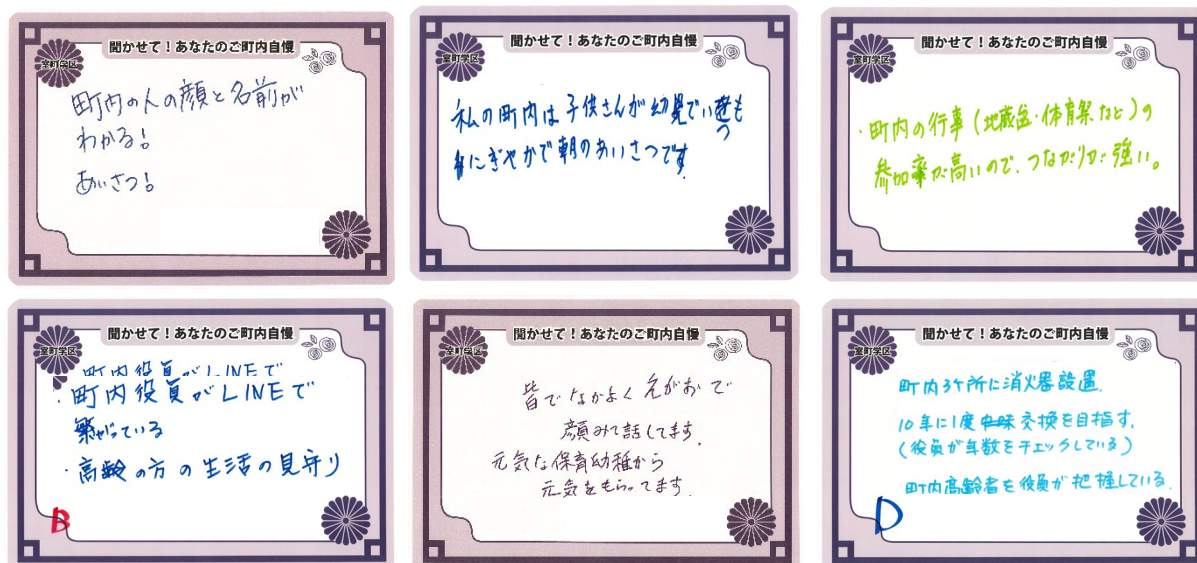
#### 【課題】

- 一人ひとりが、日頃から防災に関する意識や関心を高めることが望まれます。
- 学区の行事やこどもの時から防災を学ぶ機会を継続していくことが望まれます。
- 時代の変化を踏まえながら、災害時に協力し合えるコミュニティを整えておく必要があります。
- 「地域の集合場所」は町内会で共有しておくことが望まれます。
- 学区の行事等を活かして、自治連合会や各種団体のネットワークを維持・充実することが望まれます。

## 5. 防災まちづくりの目標

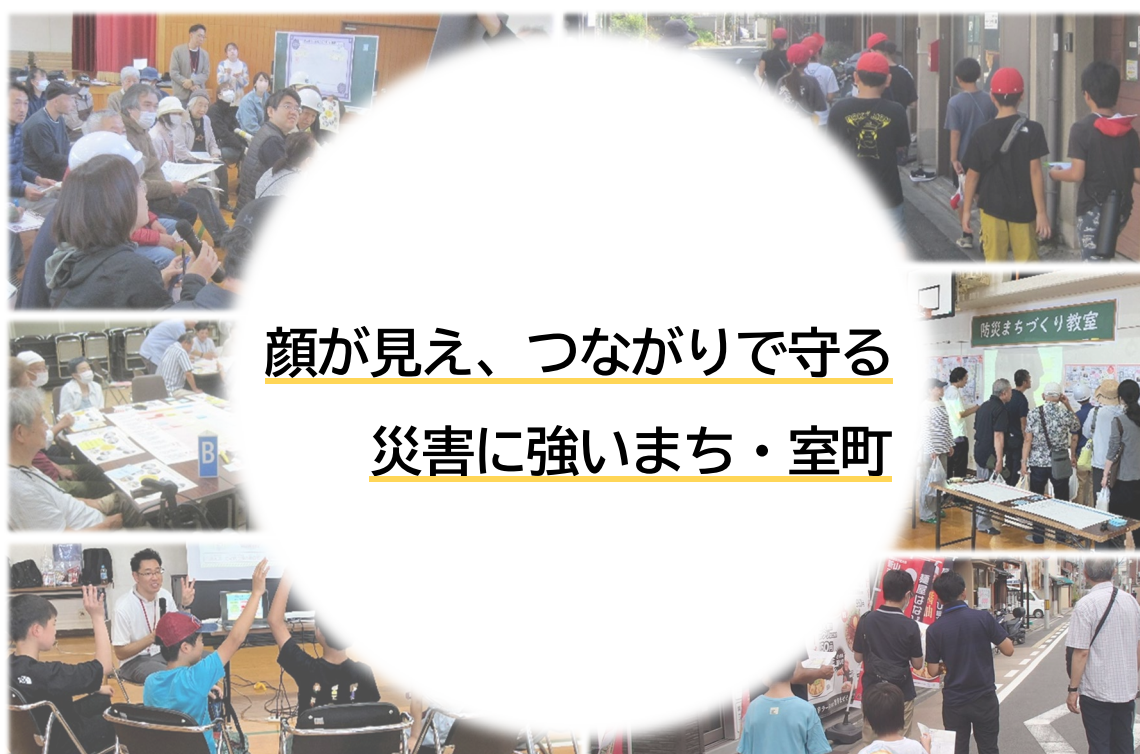
### (1) 『目指す未来の室町学区』

室町学区は、住民同士が顔見知りで助け合うまち。  
 室町学区は、学区や町内会の行事にみんなが参加するまち。  
 室町学区は、子どもや高齢者を見守るまち。  
 室町学区は、町内で助け合う仲間が多いまち。



▲ご町内の自慢(R7 総合防災訓練)

室町学区の強みを活かして、

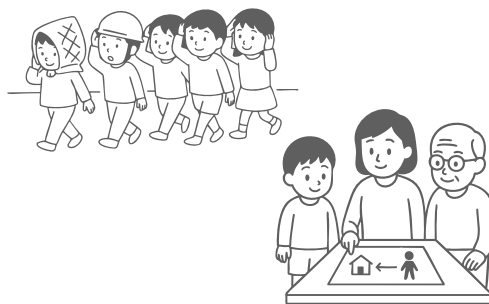


**顔が見え、つながりで守る**  
**災害に強いまち・室町**

を目指します。

災害に強いまちとは、

- ・避難場所が分かりやすく、避難しやすいまち
- ・建物が安全で安心して暮らせるまち
- ・災害への備えや防災訓練が行われているまち
- ・町内会の安否確認の仕組みがあるまち
- ・防災の情報が見え、分かりやすいまち



災害に強い室町学区をつくるため、9つの目標を掲げ、一人ひとりができること、町内会ができること、学区ができることをみんなで取り組んでいきます。

顔が見え、  
つながりで守る  
災害に強いまち・室町

#### 【安全な環境づくりに関する目標】

- 目標1 「地域の集合場所」や避難所への  
避難経路を安全にする
- 目標2 災害時に避難できるよう、  
路地や細い道の安全性を高める
- 目標3 自宅を地震や火災に強い建物にする
- 目標4 空き家は放っておかず、活用し、  
危ないものは取り壊す

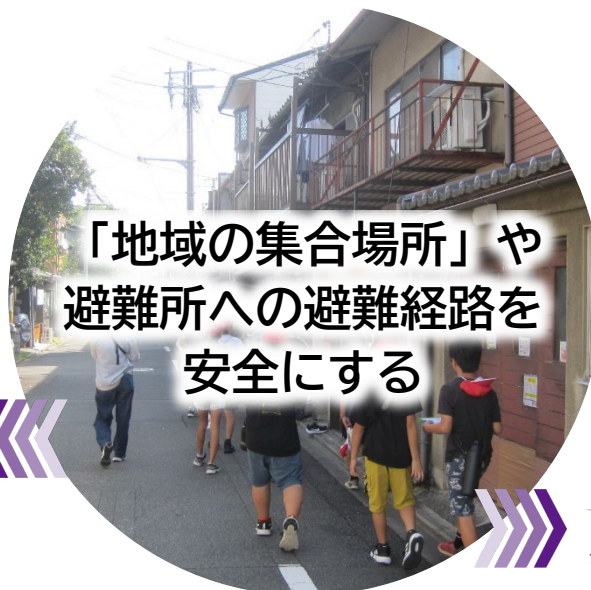
#### 【備えの仕組みづくりに関する目標】

- 目標5 一人ひとりが日頃から防災意識を高める
- 目標6 こどもの時から防災を学ぶ機会をつくる
- 目標7 町内会の防災力を高める
- 目標8 「地域の集合場所」を町内会みんなで共有する
- 目標9 自治連合会や各種団体の体制、  
ネットワークを整える

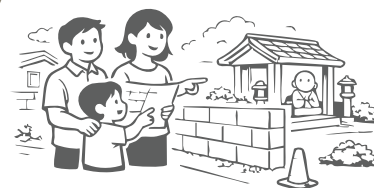
## (2) 災害に強い学区に向けた9の目標



いろんなところで  
ブロック塀が  
改修されている

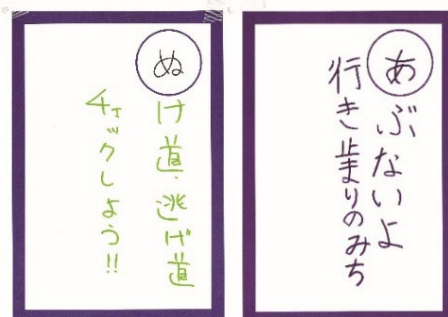


「地域の集合場所」までの  
避難経路を  
確認する家族が増えた



### 一人ひとりができること

- ☐ 自宅から「地域の集合場所」までの避難経路を確認しておく
- ☐ 通学路や避難経路にあるブロック塀などが安全かどうか確認して、危険な場所は作りかえる  
(市の補助金の活用を検討する)



▲こどものアイデア  
(防災かるた)

### 町内会ができること

- ☐ 普段から「地域の集合場所」や避難経路が安全かどうかを確認する
- ☐ 危険なブロック塀については、補助金の活用などによる改修を呼び掛ける

### 学区ができること

- ☐ 町内会に「地域の集合場所」や避難経路の安全確認を定期的に呼び掛ける
- ☐ 市の補助金の活用など、ブロック塀の改修に関する情報を発信する

## 目標 2

路地や細い道では、  
植木鉢などが  
整頓されている



災害時に避難できるよう、  
路地や細い道の安全性を  
高める



行き止まりの路地に  
緊急避難扉が  
増えてきた

### 一人ひとりができること

- ☐ 路地や細い道には避難に支障となるものを置かないようにする
- ☐ 植木鉢や自転車など、家の周りは整理・整頓する

### 町内会ができること

- ☐ 路地や細い道に、避難に支障となるものを置かないよう呼び掛ける

### 学区ができること

- ☐ 避難に支障がないよう、植木鉢や自転車などの整頓に関する情報を発信する

チェックリストとして  
活用してください。



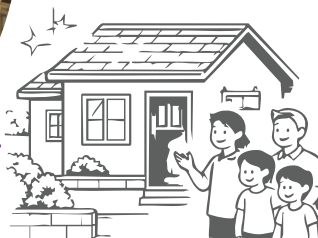


火災予防や  
耐震改修等に関する情報が  
共有されている



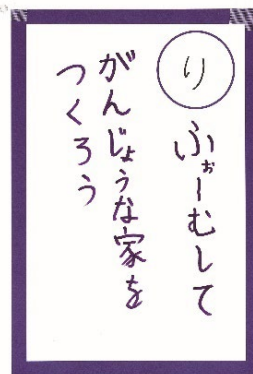
## 自宅を地震や火災に 強い建物にする

リフォームや  
耐震改修をする家が  
増えてきた



### 一人ひとりができること

- ☐ 家具の固定など、家の中の安全対策を行う
- ☐ 自宅を定期的にメンテナンスする
- ☐ 耐震診断を行い、傷んだところがあれば改修する



▲こどものアイデア  
(防災かるた)

### 町内会ができること

- ☐ 市の補助金を活用して、地震や火災に強い建物にすることを呼び掛ける

### 学区ができること

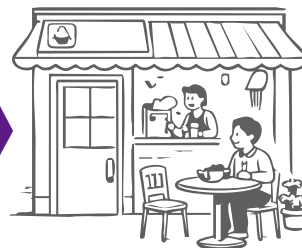
- ☐ 市の補助金の活用など、火災予防や耐震改修等に関する情報を発信する

## 目標 4

空き家を直して暮らす  
子育て世帯が  
増えている



空き家は放っておかず、  
活用し、危ない  
ものは取り壊す



空き家を活用した  
お店が増え、  
にぎわっている

### 一人ひとりができること

- ☐ 危ない空き家は町内会長や学区役員に連絡する

### 町内会ができること

- ☐ 町内に危ない空き家がないか、日頃から確認する
- ☐ 町内の危ない空き家は、市や学区役員に連絡する

### 学区ができること

- ☐ 消防団による夜回りなどで空き家の状況を確認する
- ☐ 市の補助金の活用など、空き家に関する情報を発信する

チェックリストとして  
活用してください。



# 目標 5



防災に関する情報が  
ラインで届いている



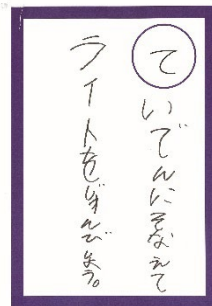
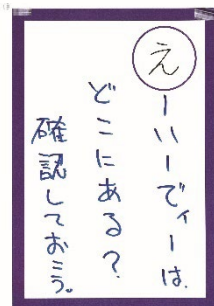
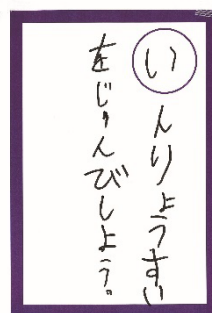
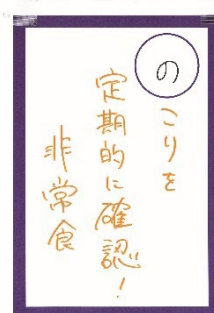
一人ひとりが日頃から  
防災意識を高める

非常持出袋（防災袋）を  
準備している家族が  
増えている



## 一人ひとりができること

- ☐ 消火バケツを管理する
- ☐ 非常持出袋（防災袋）を準備しておく
- ☐ 災害時に家族と連絡がとれるように準備しておく
- ☐ ハザードマップで自宅周辺の被害の状況を確認する
- ☐ 「防災まちづくりマップ」や  
「防災まちづくりニュース」を確認する



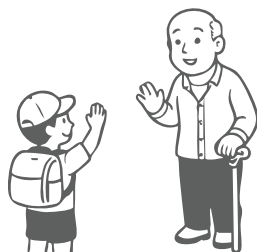
## 町内会ができること

- ☐ 防災に関する情報を、回覧などを通じて住民に周知する

## 学区ができること

- ☐ 学区住民に防災に関する情報を発信する  
(ラインなど、SNSを上手に活用する)

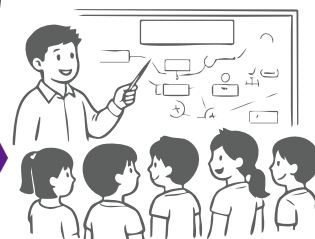
▲こどものアイデア  
(防災かるた)



地域の高齢者を知っている  
こどもたちが増えてきた



総合防災訓練に  
多くのこどもたちが  
参加している

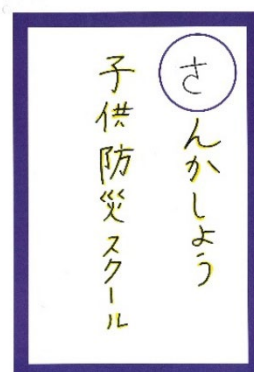


### 一人ひとりができること

- ☐ 学区や学校の防災に関する取組に参加する

### 町内会ができること

- ☐ 学区や学校の防災に関する取組に協力する
- ☐ 地蔵盆などで、町内の歴史や文化をこどもたちに伝える



▲こどものアイデア  
(防災かるた)

### 学区ができること

- ☐ こども防災スクールを継続する
- ☐ 烏丸中学校、室町小学校との連携（防災学習）を充実する
- ☐ こどもたちがお弁当やお味噌汁を作って  
高齢者にふるまう世代間交流の取組を行う
- ☐ オリジナル防災かるたを作る
- ☐ ふれあい広場等で拍子木など、防災に関することを教える
- ☐ 総合防災訓練はこどもも  
参加できるような内容にする

チェックリストとして  
活用してください。



▲具体的な取組のデータはこちらから！

# 目標 7



町内ごとに  
災害時に配慮が必要な方を  
把握している



町内会の防災力を高める

地蔵盆に  
消火器訓練をする  
町内会が増えてきた



## 一人ひとりができること

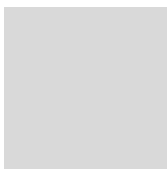
- ☐ 学区の総合防災訓練に参加する

## 町内会ができること

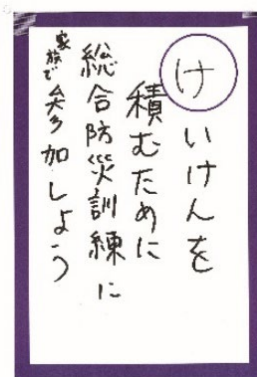
- ☐ 地蔵盆などに合わせて、消火器訓練などを行う
- ☐ 消火器等の場所や使用可能かどうかを確認する
- ☐ 学区の総合防災訓練に参加する
- ☐ 災害時に配慮が必要な方を把握しておく
- ☐ 日頃から町内の危険な箇所を確認しておく
- ☐ 役員交替の際に、防災に関する取組を引き継ぐ

## 学区ができること

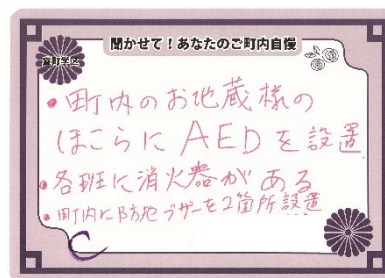
- ☐ 学区の総合防災訓練を継続、充実する
- ☐ 町内会単位の防災訓練に協力する



▲具体的な取組のデータはこちらから！



▲こどものアイデア  
(防災かるた)



▲ご町内の自慢  
(R7 総合防災訓練)

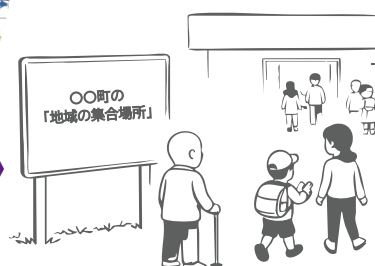
# 目標 8



「地域の集合場所」に看板が設置されている

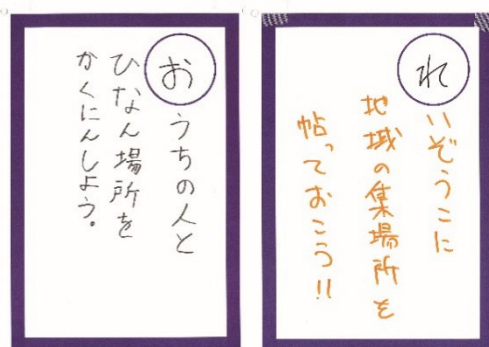


みんなが「地域の集合場所」を知っている



## 一人ひとりができること

- 町内の「地域の集合場所」を把握する
- 町内に「地域の集合場所」が分からない人がいたら教える



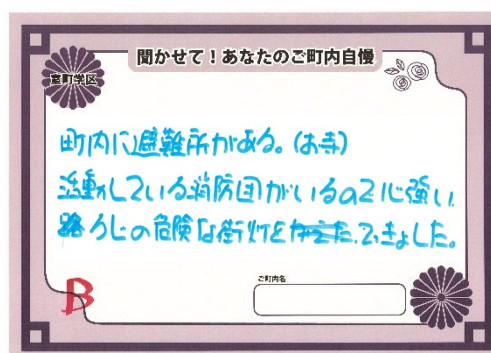
▲こどものアイデア  
(防災かるた)

## 町内会ができること

- 回覧板で「地域の集合場所」を共有する
- 「防災まちづくりマップ」を町内の掲示板に貼っておく

## 学区ができること

- 日常的に目にするよう、「地域の集合場所」に看板を立てる
- 定期的に「防災まちづくりマップ」を更新する



▲ご町内の自慢  
(R7 総合防災訓練)

チェックリストとして活用してください。



# 目標 9



災害時の避難所運営の  
役割分担が整っている



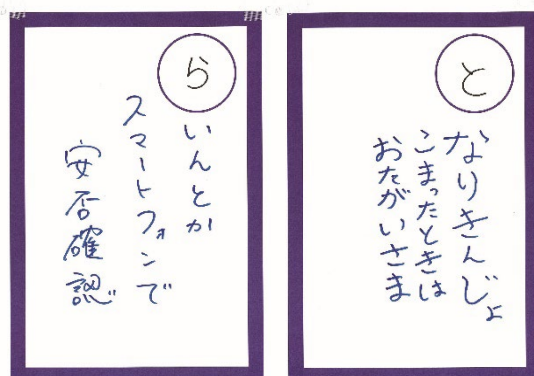
自治連合会や  
各種団体の体制、  
ネットワークを整える

ラインなどの  
連絡体制が充実している

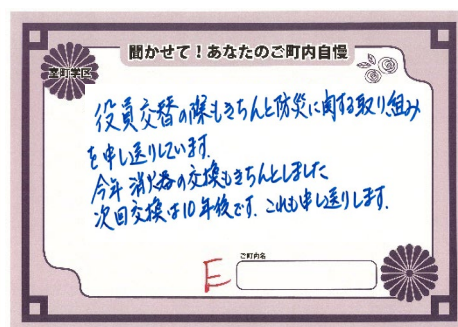
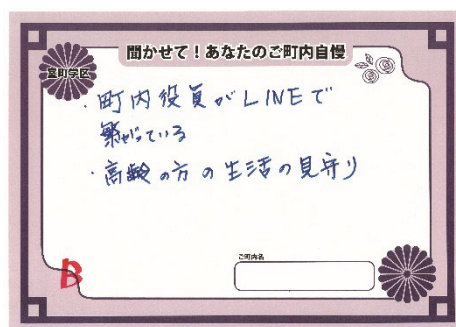


## 学区ができること

- ☐ 月1回の役員会を継続する
- ☐ 役員会や各種団体の連絡網を作る
- ☐ 学区の備蓄状況を確認しておく
- ☐ 災害時の避難所運営の訓練  
(各種団体の役割分担の確認)を行う



▲こどものアイデア  
(防災かるた)



▲ご町内の自慢  
(R7 総合防災訓練)

チェックリストとして  
活用してください。



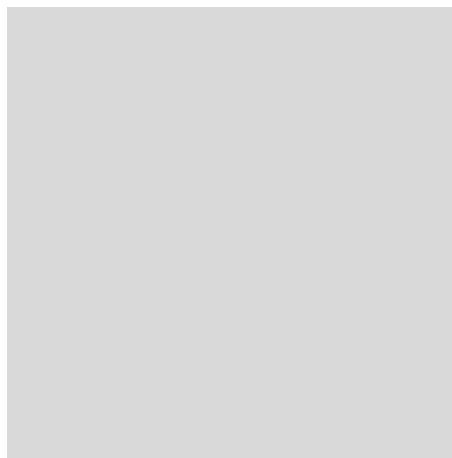
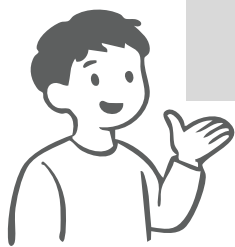
## 6. 実現に向けて

この3年間の取組を参考に、「総合防災訓練」や「ふれあい広場」などのイベントを通して、学区の防災力を継続的に高めていきます。

防災まちづくりの取組は、学区全体の取組です。そのため、市政協力委員や自治連合会、自主防災会で報告・周知を行うほか、具体的な取組の前には作戦会議を行います。

「防災クイズ」や「防災ビンゴ」など、防災のことを楽しく学べる企画でこどもの防災力を高める取組を行います。





これまでの取組や計画のデータ、  
チェックリストなどはこちらのQRコードから！